

平成29年

目黒区教育委員会

第48回定例会会議録

(平成29年12月26日開催)

第48回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成29年12月26日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	尾崎 富雄
	教育委員会教育長職務代行者	笹尾 敦夫
	教育委員会委員	中山 ひとみ
	教育委員会委員	後藤 幸子
	教育委員会委員	櫻井 道雄

出席職員	教育次長	野口 晃
	教育政策課長	山野井 司
	学校統合推進課長	増田 武
	学校運営課長	村上 隆章
	学校施設計画課長	照井 美奈子
	教育指導課長	田中 浩
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	寺尾 千英
	統括指導主事	古舘 秀樹
	生涯学習課長	馬場 和昭
	八雲中央図書館長	石松 千明

書記		小野塚 幸隆
		山東 隆博

(議事日程)

- |      |      |                              |
|------|------|------------------------------|
| 日程第1 | 報告事項 | 平成29年度目黒区立学校における第三者評価の結果について |
| 日程第2 | 報告事項 | 学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について    |
| 日程第3 | 報告事項 | インフルエンザによる学級閉鎖の状況について        |

資料配布

- ・平成30年2月行事予定
- ・第8回ESD大賞ネスレ日本ヘルシーキッズ賞の受賞について
- ・平成29年度薬物乱用防止標語東京都選考入賞作品

(午前9時30分開会)

- 教育長 第48回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員、欠席職員はございません。署名委員は櫻井委員です。  
それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 平成29年度目黒区立学校における第三者評価の結果について  
(報告事項) )

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等がございますか。
- 委員 第九中ですけれども、とてもいい評価が出ていると思えますけれども、今回、入学者が減ってしまいました。総合評価のところには、「学校評価のまとめも丁寧に作られている。その一方で、こうした良い結果を学校関係者に周知する努力が十分ではない。せつかくの結果が活かしきれていないのは残念である」とありますが、ここでいう学校関係者は、主に保護者のことですか。
- 説明員 学校関係者に関しましては、保護者、地域という認識をしておりますので、保護者や地域の方を指しての評価と考えております。
- 委員 いい評価が出ている学校なので、これが認識されれば、入学希望者が減るといってもないと思うので、教育委員会事務局としても積極的に周知してほしいと思います。
- 説明員 こういった評価をいただいているということをさらに周知してまいりたいと思います。
- 委員 A評価が多いところと少ないところの根本的な差はどのようなのでしょうか。また、C評価に対しての改善プランが出ますが、その後のフォローアップは行うのでしょうか。
- 説明員 校長のリーダーシップ、組織運営を行っていくリーダーシップというところが大事だと思います。特にそのリーダーシップは、明確なビジョンを示し、具体策を示しているというところ、さらには主幹教諭から主任教諭、教諭までのラインをしっかりと形成しているというようなところ、そういう組織運営が大きな違いと捉えております。
- 2点目のC評価の学校へのフォローアップですけれども、今後、まとめのシートをつくってまいります。このシートをもとに、来年度の教育課程編成の相談を受けますので、そこで、こういった

評価を受けての改善策がなされているかどうかを、チェックさせていただきます。

来年度になりましたら、今度は教育指導課訪問の中で、実際にどういう運営がされているかを校長から話を聞きながら学校での様子を見て助言をするという予定でございます。

○委員 校長のリーダーシップでは、中学校の校長先生のリーダーシップが小学校に影響しているかどうかというところがあります。

そういう意味で、第十中学校の校長に八雲小、東根小、宮前小との小中連携をさらに強化し、協力し合うよう頑張ってもらいたいと思いますので、よろしくお願いします。

また、これは評価者との相性の問題もあるとは思いますが、今後の評価につなげる意味で、校長と評価者とのコミュニケーションの向上も一つ視点に入れていただきたいと思います。

○説明員 中学校の校長のリーダーシップを発揮するというところで、第十中学校を例にご指摘いただきました。実は3年前の評価では、教員の人材育成の点、あるいは評価結果の保護者へのフィードバックについて厳しくご指摘を受けておりまして、今年度はそういった内容から一定の改善が見られる評価をいただいていると事務局では思っております。

小中連携につきましても、今年度になって、いじめ問題を考える子ども会議も代表する学年全員で取り組む、その前の校長間の連絡をするなどといったことの情報を得ておりますので、本日いただいたご指摘をもとに、さらに連携が深まるような取り組みを促していきたいと思います。

それから、評価者と校長とのコミュニケーションにつきまして、なるべくその評価者の主観が入って評価がぶれないようにということで、3ページからの項目の観点をつけさせていただきました。

事務局では、これが完成形だとは思っていませんが、実際に評価者からの意見等もいただきながら、校長間でのコミュニケーションによって評価が分かれるというようなことがないように取り組んでいきたいと考えてございます。

○委員 この第三者評価ですけれども、3年に一度なので、時期によっては評価が違うので、これが全てだとは言えないと思いますけれども、今の説明で4月当初に着任される校長のリーダーシップが重要になってくると思いました。

これはホームページに掲載されるということの認識でよろしい

でしょうか。ホームページに掲載されるだけだと、ほかの学校の方も見ることはできるんですけども、今のような説明はありません。例えば校長会とかで話される機会があるのでしょうか。

○説明員

ご指摘のとおり、ホームページにアップして、改善プランとともに、次回の第三者評価を受けるまで、これをホームページに載せておきます。あくまでも学校とその関係者に対しての公表を目的として、他の校長に意図的にこういった内容を知らせるといったことはしておりません。今のご指摘をいただいて、今年度の結果について合同校園長会等で報告できないか検討してまいりたいと思います。

○教育長

まず参考資料のA3判の資料ですけれども、一番下段が第三者評価の委嘱の時期、評価・意見の時期、それから報告の時期があります。報告の時期が10月になっています。

前は2月でしたので、大分改善がなされたと思いますけれども、今回も12月の終わりの時期の報告はどうしても遅いと思います。

その上で学校経営改善プランの作成が1月となると、自己評価と学校関係者評価、第三者評価がうまくかみ合っていないと思います。

それから、評価の物差しとして、それぞれの評価項目のA、B、Cをつける際の目安をつけられたことは非常に評価できると思いますけれども、評価者の物差しの違いを実感しています。

それを改善するには、客観的な評価基準が重要になってまいりますので、事前に第三者評価に入る前に、各評価者に説明をしていただきたいのと、同じ学校を担当するのではなく、今回2巡したわけですから、3巡目は変えていくということも一つの方法だと思います。

それから、昨年までは4段階評価で行っていたはずですが、それを今回3段階評価に変更したお考えを聞きたいと思います。

それから、各学校へは恐らく年明けの合同校園長会で話されると思いますけれども、学校運営改善プランは、既に作成をし始めているのか、それともこれを受けて行うのか、どうでしょうか。

○説明員

学校評価の流れで、ご指摘いただいた第三者評価の報告、10月になっているというところ、本日12月末でのご報告についての問題点でございますが、この第三者評価を実施するに当たっては、早い段階で評価者の評価を学校にフィードバックし、学校改

善に生かしてもらいたいという考えから、9月までの実施、前期までに2回の訪問を実施していただいて、後期に改善策が得られるような形ということで設計をさせていただきます。

そういった中で、なかなか評価者の方もお忙しいので、学校との日程がとれないという問題点から、訪問がずれ込み、報告書を最終的には評価責任者の方にまとめていただくという作業をします。今回遅くなっているということです。

昨年度は2月に報告しており、今年度は急ぎましたが、それでも十分ではないということの自覚はございますので、来年度に向けては、さらに早くから取り組んでまいりたいと思います。

一方で、2回目の訪問のときに、評価者から一旦、報告書がないまでも、口頭で課題についてはご指摘いただいておりますので、その点については、しっかりと受けとめて、学校運営改善に向けて学校長とも協議していきたいと思っています。

それから、評価基準については、評価者によつての評価にブレがないようにということで、今回3ページの評価基準を作成させていただきましたが、周知については十分ではなかったなと思っておりますので、改めて、周知してまいりたいと思います。

それから、3点目、今年度から昨年度までの4段階評価を3段階に変更したところということでございますけれども、私どもで、昨年度報告した際には、評価者それぞれの観点別評価ということで報告をさせていただきました。それを集計をさせていただきますと、昨年度、一昨年度と、D評価がゼロ件ないしは1件でございました。いずれも、努力を要するという点で、このD評価とC評価についての差異を非常につけづらいというようなご意見もいただいたことから、今年度は3段階評価にさせていただきました。

そうした中での割合につきましては、一昨年度、さらにはその2年前の取り組みと割合は、今年度のC評価の割合と、前年度、前々年度のC評価、D評価の割合については、変わっていないというようなところから、努力を要するという点での見取りは十分できたと思っておりますのでございます。

それから、4点目、授業改善プランの作成時期についてでございますけれども、これは、今年中に四者によるアンケート結果を学校に返します。これをもとに自己評価を行って、その自己評価を学校関係者に、説明をして意見をいただいたものをもとに改善

プランを作成いたしますので、今の段階では、この第三者評価も含めて学校が課題を受けとめたという時期でございますので、これから学校全体で自己評価を進めていくということになります。

○教育長

1点目のできるだけ早い時期にという、ご苦労はよくわかりました。なかなか日程調整が難しいというのは現実にあるでしょうし、学校側の受け入れの問題もありますので、さらなる努力をしていただきたいと思います。

また、この図を公表する以上は、それに沿った実態に合わせていくことが最善だと思いますので、これは強く要望します。

それから、4段階から3段階にしたことについては、3段階がいいのか、4段階がいいのかという意見がいろいろ分かれるところであり、他の自治体においても3段階のところ、4段階のところ、いろいろあろうかと思えますけれども、来年度に向けて、評価者の方と3段階がいいのか、4段階がいいのかをあらかじめ相談していただきたいと思います。これも要望です。

それから、最終的に学校運営改善プランと授業改善プランの関係ですけれども、この図でいうと、どこですか。学校運営改善プランの時期は10月にありますが、実際にその改善プランに学校が取り組むのはいつですか。

○説明員

この右の自己評価の中に、学校評価のまとめシートとございますので、この中に改善の方策等を具体的に示していきますので、先ほど申し上げていた学校運営改善プランという形になります。

第三者評価を受けての学校運営改善プランの作成につきましては、これはあくまでも公表するものではありません。

○教育長

その点ですけれども、学校改善プランの作成に着手だと思います。ここで作成するよう見えるので、せめて着手であるなら、2カ月ずれているだけなので、先ほどの説明のとおり、評価者が文書では出していないけれども、口頭でその場で伝えているということなので、作成に着手したということに変える必要があると思います。

それから、全体がうまくPDCAサイクルが回っているように見られるので、工夫をしていただきたいと思います。これは要望です。

○委員

改善プランの実行は大切だと思っておりますが、その改善プランをつくって実行するのに、学校の中で色々な人が加わってつくっていく、そして実行していくというように、チームで動いていた



だきたいと思っています。

○説明員      ご指摘のとおり、管理職だけが改善プランをつくるのではなく、課題をしっかりと教員同士が分析をして検討していくということが重要だと思いますので、各学校に周知、徹底してまいりたいと思います。

○教育長      その他ご質問等ございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第2を議題とします。

(日程第2      学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について)

○説明員      (資料により説明)

○教育長      この件についてご質問等はございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第3を議題とします。

(日程第3      インフルエンザによる学級閉鎖の状況について)

○説明員      (資料により説明)

○教育長      この件についてご質問等はございますか。

○委員      ここのところ、急激にインフルエンザが流行ってきています。ほとんど、10対1ぐらいでA型が多いです。ワクチンもかなり供給が整ってきました。

小学校、中学校の児童・生徒のインフルエンザワクチンの接種率、先生方の接種率はどうでしょうか。

○説明員      児童・生徒のワクチンの接種率については、把握してございません。保護者に委ねているところでございます。

それから、教職員については、学校現場がさまざまな病気に罹患しやすい状況もございます。東京都の所属する共済組合等で教職員について廉価で接種ができるようなシステムができています。職業柄で接種率は高いと思っておりますが、細かい数字までは把握してございません。

○委員      高齢者のワクチン接種がかなり広まって、高齢者と子どもの接種率が大体50%程度で、それ以外の人30%、全体で40%ぐらいだと言われております。接種率が高くなれば高くなるほど、恐らく学級閉鎖は非常に少なくなると思っております。

学校で集団接種を行っていたときは、学級閉鎖が非常に少なく、1. 5日ぐらいです。ぜひ、接種率を上げるような努力をお願いしたいと思います。

児童に補助を与えているというところもあるみたいですので、ぜひ接種率を上げるための努力を何かしていただきたいと思いません。

○教育長 今現在、高齢者は補助をさせていただいておりますけれども、子どもたちに対しての補助は、23区では行っていない状況ですけれども、先進自治体等の取り組みについて調査しながら、研究していくということで、よろしいですか。

○説明員 ご指摘いただいた点について、調査研究してまいりたいと思いません。

○教育長 その他ご質問等ございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。

資料配布

- ・平成30年2月行事予定
- ・第8回ESD大賞ネスレ日本ヘルシーキッズ賞の受賞について
- ・平成29年度薬物乱用防止標語東京都選考入賞作品

○教育長 今年も残すところあとわずかとなります。この1年間、教育委員の皆様、そして事務局の皆さん、大変お疲れさまでした。

この1年間は、確かな学力、豊かな心、それから健やかな心を育むことを通して子どもたちが生きる力が、大いについたのではないかと思っています。

また、特別の教科道徳の教科書の選定を初め、新学習指導要領への対応に追われた1年だったなと思っています。

また、障害者差別解消法に基づく合理的配慮への取り組みや、それから、いじめ防止対策推進条例に基づく組織体制の整備、これから具体的に進めていくマニュアル化、こういったものも課題としてありました。

一方で、教育というのは言うまでもなく、国家百年の計と言われているように、最終的に目指すべきゴールの位置というのはありません。

したがって、一日一日、前へ前へと前進していくほかには方法がないわけで、平成30年1月9日に第1回の教育委員会が開か

れるわけで、そうしたことを積み重ねていくことによって、未来を担う子どもたちの育成につながっていくのではないかと考えているところです。

ぜひ、皆様におかれましては、健康に留意され、よいお年をお迎えいただきたいと思います。

私からは以上です。本日の定例会を閉会します。

(午前10時35分閉会)